

## 総合企画水道常任委員会

# 地元首長らと意見交換

滝田県議が委員長を務める県議会総合企画水道常任委員会のメンバー十人が十月八日、成田空港を訪ね、同空港の年間発着枠三千万

回化について、地元自治体や成田空港株式会社（NA）幹部と意見交換を行ないました。

民主党や公明党からも、発着枠三

十万回化に対するコンセンサスを得て開催された意見交換会に

は地元から小泉一

成田市長、NA

Aから森

中小三郎

社長、県

からは高橋渡総合企画部長

が出席しました。

約一時間に及んで意見交換会で、

滝田県議は常任委員会を代表して、「羽田空港の本格国際化を視野に入れて、（成田空港の発着枠）三十万回化と騒音直下対策は、党派を超えて『オール千葉県』で取り組むべき課題。未来志向で応援していく」と述べ、県議会としての発着枠三千万回化への意思を明確に伝えました。

意見交換会後記者会見に臨んだ滝田県議は、「三十万回化に向け、着々と進んでいるのを、大変心強く感じた」とした上で、「大型内陸空港として、騒音下に住み続ける住民への配慮が何よりも重要であります。理解

を得るため、住民の立場を真摯に受け止め、彈力的に対応してほしいという点も求めた」と説明しました。

十月十三日には、国、県、空港周辺九市町、NAの四者で発着枠三千万回化へ

の合意がされました。滝田県議のリーダーシップで開催されたこの日の意見交換会は、その後の四者合意への強力な後押しになりました。

滝田県議は一般質問で北総鉄道運賃問題を取り上げ、沿線自治体で唯一、運賃値下げ実現のための負担をしていなかった白井市長に対し、「期限を付けて具体案の提示を求めるべきだ」と森田知事に強く要望しました。

せっかく実現した値下げが白紙に戻ってしまうのを危惧した上での要望でしたが、10月3日、横山久雅子・白井市長が値下げ支援補助金を専決処分し、鉄道事業者と県、沿線6市の合意が履行され、値下げされた新運賃が継続されることになりました。

## 北総鉄道 更なる値下げへ第一歩

滝田県議は一般質問で北総鉄道運賃問題を取り上げ、沿線自治体で唯一、運賃値下げ実現のための負担をしていなかった白井市長に対し、「期限を付けて具体案の提示を求めるべきだ」と森田知事に強く要望しました。

せっかく実現した値下げが白紙に戻ってしまうのを危惧した上での要望でしたが、10月3日、横山久雅子・白井市長が値下げ支援補助金を専決処分し、鉄道事業者と県、沿線6市の合意が履行され、値下げされた新運賃が継続されることになりました。

可能となっています。  
今後は、残る一台のポンプも含め、老朽化した六台全てのポンプの本格的な整備修理工事を行うため、平成二十三年度から基幹水利施設ストックマネジメント事業を実施する予定であり、関係市、土地改良区と連携を図りながら、手賀排水機場の機能回復に努めます。

滝田議員 印旛沼 手賀

沼流域に発生が広がっているナガエツルノゲイトウの駆除について、どのように取り組むのか。

滝田議員 印旛沼 手賀

沼流域に発生が広がってい

るナガエツルノゲイトウの駆

除について、どのように取り組むのか。

滝田議員 印旛沼 手賀

沼流域に発生が広がってい

るナガエツルノゲイトウの